

無線機器整備員
(陸上自衛隊)

職場では
こんな人も
働いています

- 医官(医師) ● 看護官(看護師) ● 偵察隊員
- 経理員 ● 通信員 ● パイロット ● 特殊車両乗員
- 臨床検査技師 ● 消防員 ● 航空整備員

この仕事のキーワード

通信維持
整備
システム
無線機
回路
災害派遣

こんな人に向いています

人を助ける仕事につきたい
集中力がある
細かい作業が苦にならない
長時間の作業もこなせる
電気に興味がある
協調性がある



自衛隊のみんなが連絡を取り合う仕組みをしっかりと守っています

陸上自衛隊員が連絡を取り合うために使う無線通信機器の修理や整備を行っています。無線通信機器には、隊員が身につける無線機、自衛隊の車に取りつけられた無線機、駐屯地にあるアンテナや電話線などの通信資材があります。それらすべてを管理して、いつでも電波がつながり正常に動く状態を保っています。自衛隊はチームで行動するため、情報伝達はとても重要です。特に災害支援では人命にかかわり、通信機器は大切な役割を果たします。

check!
私がこの仕事に
就いたきっかけ

父が元自衛官で、子供の頃から自衛隊の話聞いて憧れていて、中学3年の時に、自衛隊の高校(陸上自衛隊高等工科学校)に進学することを決めました。整備員を選んだのは、細かい作業をすることが好きで向いていると思ったからです。

入隊2年目 宮城さん

無線機器整備員の仕事内容

無線機の修理

隊員が持ってきた不具合のある無線機を修理します。基盤や回路図を確認したり、電波を送るケーブルが切れていないかを調べて、故障の原因を見つけて直します。



無線機器や通信機材の整備・点検

隊員が無線機を使った後に、壊れていないかを確認します。専用の機械を使って周波数を調べ、電波がきちんと通るかチェックします。機材ごとに定期点検も行います。



部品の注文

無線機の部品が壊れた時は、新しい部品に取り替えて修理します。パソコンを使って業者に部品を発注します。様々な部品があるので、正確に手配します。



災害派遣

災害が発生した時には、被災地に行きます。能登半島地震では被災地で人命救助、物資輸送などを支援するとともに、民間車両の救出も手伝いました。



必要な資格・スキル

- 整備員に必要な技術や知識は、入隊後の勉強や訓練で習得できます。自衛官を目指す一つの進路として、神奈川県横須賀市に所在する「陸上自衛隊高等工科学校」への進学があります。普通科高校と同等の教育のほか、専門教育や各種訓練を受けることができます。卒業後は自衛隊に入隊するとともに、高校卒業資格も得られます。
- ※令和10年度から、男女共学となる予定です。

防衛省・自衛隊(石川地方協力本部)

金沢市新神田4-3-10 金沢新神田合同庁舎3階 TEL/076-291-6214

創立/1954年7月 隊員数/約23万名

基地・駐屯地/小松基地、金沢駐屯地、輪島分屯基地のほか、全国290カ所に所在

職場見学
OK職場体験
OK出張授業
OK

防衛省・自衛隊はこのような活動を通じて国民の安全・安心を守ります

わが国の防衛 国の平和と独立を守るという使命のもと、領土・領海・領空を守ります



島嶼防衛のための訓練



我が国周辺での警戒監視



宇宙・サイバー空間における状況監視

災害派遣 人命を救い、各種支援によって被災者の生活を取り戻す手伝いをします



人命救助活動



艦艇による物資輸送



生活支援(入浴支援)

国際平和協力活動等 平和を維持するため、国際協力を推進しているほか、様々な活動により世界で活躍しています



国際緊急援助活動



在外邦人等の保護・輸送



南極地域観測支援

自衛隊石川地方協力本部では、皆さんが楽しめる様々なイベントを行っています

一般の多くの方々が参加して楽しむことができる艦艇見学、体験搭乗、音楽隊コンサートなど、いろいろなイベントを年間を通じて行っています。また、航空自衛隊小松基地や陸上自衛隊金沢駐屯地において自衛隊の仕事を体験できる職業体験もあり、自衛隊の仕事を楽しく知ることができます。

